

エコキャップ運動 活動報告

2022年7月
森永乳業販売株式会社
本社 業務部

2020年2月よりデイリーフーズビル(本社ビル)にて開始したエコキャップ回収運動の2021年度の結果を報告いたします。

◆ 活動の目的

森永乳業株式会社の「サステナビリティ中長期計画 2030」で掲げた3つのテーマのうち、「資源と環境」にフォーカスし、社内のサステナビリティ活動のきっかけとして従業員の誰もが気軽に参加できるエコキャップ運動を行っております。

エコキャップ運動の主な目的は以下の通りです。

・支援国へワクチンの寄付

回収したキャップをリサイクル会社へ寄付し、そのキャップから製造したリサイクル製品を売却した利益を開発途上国へのワクチン代として寄付していただいております。

・ペットボトルゴミの分別

ペットボトルをリサイクルする際、キャップやラベルなどの異物が少ないほうがより純度の高い資源として再利用することができます。実際に、港区の家庭ごみではペットボトルからキャップとラベルを外してこれらを資源プラスチックとして捨てることになっています。キャップとペットボトル本体を分けて処分することはリサイクルの効率化へ多少なりとも貢献できると考えております。

この取り組みは、森永乳業グループ環境基本方針の環境管理重点課題のひとつである「限りある資源の有効活用のため、資源効率・エネルギー効率に配慮した事業活動、水資源の保全、生物多様性への貢献、商品の環境配慮型設計、3R(削減、再使用、再生利用)、及び廃棄物の適正処理を推進」することにもつながっていると考えております。

※森永乳業グループの環境方針

[〈https://www.morinagamilk.co.jp/sustainability/policy/#environmental〉](https://www.morinagamilk.co.jp/sustainability/policy/#environmental)

◆ 回収方法

ビルの各階(1~6階)のゴミ箱横に回収ボックスを設置しました。

《次ページ右上 写真参照》

◆ 回収結果

回収期間:2021/5/8~2022/6/1

- 1階 2袋(森永乳業株式会社 エンジニアリング部)
- 2階 2袋(森永乳業販売株式会社 本社)
- 3階 2袋(森永乳業販売株式会社 東京支店)
- 4階 1袋(エムケーフーズ株式会社 株式会社トーワテクノ)
- 5階 2袋(株式会社森永乳業ビジネスサービス)
- 6階 2袋(森永酪農販売株式会社・株式会社東日本トランスポート)

合計 11袋(90リットルゴミ袋へ7~8分目程)



重量 50.0kg(約 25,000 個)

=ワクチン 約 25.0 人分

=CO2 157.5kg

※キャップをゴミとして焼却した場合に想定される発生量

(キャップ 1kg で約 3,150g の CO2が発生する想定)

◆ 今後の目標

・2022年6月~2023年5月の1年間で昨年と同じ50kgのキャップを回収することを目標にします。

(ゴミ削減の観点から、キャップの回収量が多ければ多いほど良いということではありませんが、より多くのペットボトルがキャップと分別して処分されることを目指します。)

・ただキャップを集めるだけでなく、社内でのゴミ分別について意識していただくなど、この活動から派生して従業員ひとりひとりがサステナビリティや資源と環境について目を向けるきっかけとなるような活動を行ってまいります。